

# 審査員講評

## 各受賞作品について

皆さんからいただいた字幕案は、どれも楽しく拝見しました。それぞれの字幕案から、皆さんがセリフ一つひとつに様々なアプローチを施していることが分かりました。ここでは最優秀賞、優秀賞の字幕について、審査員からの講評をお伝えします。

### 最優秀: Taro Konishiさん

全体的に素晴らしい字幕で、特に1と5は際立っていました。1のセリフについて、日本人の視聴者にとっては正実の不機嫌の理由は一目瞭然なため、原文では「レンジに麺を乗せてラーメンを食べている」ということに触れていません。ですが英語字幕では補足情報として言及がされており、その点がおもしろかったです。また、5の正実の“Huh? You gotta slurp them to fully taste the ramen!”も優れていました。この訳出には感心しましたね。正実がなぜ「ラーメン評論家が麺をすすれないなんてあり得ない」と思っているかがよく表現されていたからです。応募者の中でこのような訳出をされた方は、他にはほぼいませんでした。このように情報をつけ足すことは、セリフの背景を必要とする英語話者の視聴者にとってとても有効です。既存の枠にとらわれず、独創的で新鮮なアプローチを行っていたことから、Taroさんを最優秀賞に選出させていただきました。

### 優秀賞: Jon Velierさん

Jonさんの字幕は全体を通して、とても自然な流れとトーンになっていました。セリフ2で“I assure you”のようなフレーズを追加することは、些細なことではありますが、自然な流れを作るためにとても効果的です。セリフの6と7も良かったです。6を“How can I trust her?”と疑問形にすることで、ラーメン評論家への正実の疑念がよく表現できています。そして7の“Her palate is second to none”も、評論家に対するマリリンの自信をよく表すことができています。

### 優秀賞: Georgia Schlinkさん

Georgiaさんの字幕案は、セリフのキャラ付けがとてもよくできていました。5の「は？ふざけんな」に対する“Get real”という訳は、正実のキャラクターにピッタリです。また同じく5の“What kind of ramen critic can't slurp?”も、正実が信用していないというニュアンスがよく表れています。2の“She's taking this seriously”というセリフも良いですね。1の正実のセリフをマリリンがただ否定しているだけで終わらず、評論家を支持していることもよく表現できていました。

—Jessi Nuss